

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

春日通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。道路名には東京都の通称道路名と道路法の道路名があります。春日通りとは東京都の通称道路名です。写真右上の本郷三丁目交差点での春日通りの道路法の道路名は起点からは国道 254 号線で、本郷三丁目交差点で都道 453 号線に変わります。交差する本郷通りは国道 17 号線です。国道は逆おむすびの中に数字がある赤色の標識、都道は六角形の中に数字がある橙色の標識です。今回は起点の豊島区六ツ又陸橋交差点から文京区本郷三丁目交差点までの国道区間を歩きました。

今回は文京区本郷三丁目交差点から台東区厩橋（うまやばし）交差点までの都道区間を歩きます。春日通りの名は三代将軍 徳川家光の乳母で大奥制度を築いた春日局に由来します。掲載の写真は密を避けた時間帯に撮影したものです。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔本郷三丁目交差点〕 文京区本郷三丁目

最寄駅 大江戸線 本郷三丁目駅

春日通りの下は都営地下鉄大江戸線（以下大江戸線）が通っています。写真下の経路案内標識や道路名標識のように春日通りは本郷三丁目交差点で国道 17 号線の本郷通りと交差し、春日通りは国道 254 号線から都道 453 号線に道路名が変わり直進します。標識の色は国道が赤色、都道が橙色（白色もあります）で区別されます。本郷三丁目交差点は左へ行くと巣鴨、王子方面、右へ行くと日本橋方面です。春日通り（都道 453 号線）は直進で御徒町方面へ進みます。



写真下左の本郷三丁目交差点の右角に「かねやす」（写真下右）があります。



シャッター左側下の説明板には「兼康祐悦という口中医師（歯科医）が、乳香散という歯磨粉を売り出し、大変評判になり、客が多数集まり祭りのように賑わった。享保 15 年大火があり、防災上から町奉行（大岡越前守）は三丁目から江戸城にかけての家は塗屋・土蔵造りを奨励し、屋根は茅葺を禁じ瓦で葺くことを許した。江戸の町並みは本郷まで瓦葺が続き、それから中山道は板や茅葺の家が続いた。その境目の大きな土蔵のある「かねやす」は目立っていた。『本郷も かねやすまでは 江戸の内』と古川柳にもうたわれた由縁であろう。



芝神明の兼安との間に元祖争いが起きた。時の町奉行は、本郷は仮名で、芝は漢字で、と粋な評決を行った。それ以来本郷は仮名で「かねやす」と書くようになった」と記載。

本郷三丁目交差点から左は見送り坂、その先は見返り坂と呼ばれる坂道があったそうです。

江戸の外にあたる、ここで江戸追放の罪人を追い放し、罪人は離れる江戸を名残惜しそうに見返る情景を思い浮かべた寅次郎でした。

春日通りを直進し、左側の本富士警察署角を左折すると、左側に文京総合体育館（写真下左）、正面は東京大学竜岡門（写真下右）で、東京大学の構内に入ると、すぐ右側に東京大学附属病院があります。



春日通りに戻り、進むと左側に春日局像（写真下左）があります。左のお寺は春日局のお墓がある麟祥院（りんしょういん）です。像の裏側をみると「春日局とご縁が深い文京区がNHK大河ドラマ「春日局」放映を機に地域活性化・地域振興を目的に1989年（平成元年）に建立した」と書かれてあります。寺に入り、世を見続けるため墓石に穴をあけた春日局のお墓をご覧ください。



切通坂を下ると右側に湯島天満宮（湯島天神）の大きな鳥居（写真上右）が見えます。文中に登場の坂はJVA（日本市民スポーツ連盟）のHPに掲載の「平野寅次郎のYR散歩 No17 文京区の坂 113 ①湯島ブロックをご覧ください。アプリを使って文京区の坂 113 を歩くシリーズものです。FWAのHP表紙のJVAをクリックすると、JVAのHPにリンクされます。

坂の終わりの右側は湯島天満宮へ上がる階段（写真下左）です。春日通りを挟み湯島天満宮の反対側の建物 湯島ハイタウン 2 階が日本市民スポーツ連盟（JVA）の事務所です。事務所の裏手は旧岩崎邸庭園（写真下右）で三菱財閥創業者 岩崎彌太郎の長男 三代社長 岩崎久彌の本邸と庭園です。ジョサイア コンドルの設計による本邸は明治を代表する建築で国の重要文化財に指定され、建物内も公開されています。学問の神様の湯島天満宮では文京梅祭りと菊祭りが開催されます。「寅さん歩 78 江戸・東京の祭（花の祭）—9 と寅さん歩 84 江戸・東京の祭—13（花の祭—2）をご覧ください。 又、寅さん歩 23 東京の発祥之地めぐり（学問・文化編—4）では湯島天満宮にある珍しいものが見られます。



〔天神下交差点〕 文京区湯島三丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 湯島駅

天神下交差点（写真下右）の左へ行く道は都道 452 号であると六角形の標識（写真下左）で確認しました。左へ行くと正面が不忍池、右へ行くと上野、外神田方面です。春日通りは直進、先の上野広小路交差点手前から台東区になります。



〔上野広小路交差点〕 台東区四丁目

最寄駅 大江戸線 上野広小路駅

上野広小路交差点（写真下左）で中央通り（都道 437 号線）と交差します。左へ行くと上野恩賜公園、ＪＲ上野駅方面、右へ行くと万世橋方面です。交差点右側手前にお江戸上野広小路亭、交差点を左へ行けば鈴木演芸場があります。上野は江戸落語発祥の地です。寅さん歩 22 東京発祥之地めぐり 学問・文化編—3 をご覧ください。上野広小路交差点を渡ると右角が上野松坂屋です。正面のＪＲ御徒町駅（写真下右）をくぐり進みます。ガード手前左側はアメ横入り口です。上野駅から御徒町駅まで山手線のひと駅沿いにアメ横は続きます。



〔台東区四丁目交差点〕 台東区四丁目 最寄駅ＪＲ 御徒町駅

台東区四丁目交差点（写真下右）で昭和通り（国道 4 号線）と交差します。左へ行くとＪＲ上野駅方面、右へ行くと秋葉原駅方面です。上は首都高速道路です。



〔元浅草一丁目交差点〕 台東区元浅草一丁目

最寄駅 大江戸線 新御徒町駅

写真下左は元浅草橋一丁目交差点手前の標識です。元浅草一丁目交差点（写真下右）で清洲橋通りと交差します。左へ行くと入谷方面、右へ行くと鳥越、浅草橋方面です。春日通りの下は大江戸線が通っています。



〔三筋二丁目交差点〕 台東区三筋二丁目

最寄駅 大江戸線 蔵前駅

さらに進むと三筋二丁目交差点（写真下左）です。交差点の右角に川柳発祥の地の碑（写真下右）があります。川柳の創始者 柄井川柳の墓が裏の路地にある龍宝寺にあります。詳しくは「寅さん歩 23 東京発祥之地めぐり 学問。文化編—4」に立ち寄って読んでください。FWAの川柳王の金子勝彦さんもここを訪れたそうです。三筋二丁目交差点は新堀通りと交差します。左へ行くと西浅草方面、右へ行くと鳥越方面です。



〔寿三丁目交差点〕 台東区寿三丁目 最寄駅 大江戸線 蔵前駅

寿三丁目交差点（写真下左）で国際通り（462 号線）と交差します。左へ行けば浅草雷門方面、右へ行けば蔵前方面です。



〔厩橋交差点〕 台東区蔵前三丁目 最寄駅 大江戸線 蔵前駅

厩橋交差点では江戸通り（国道 6 号線）と交差します。左へ行くと浅草駅方面、右へ行くと蔵前方面です。正面はこれから渡る厩橋（写真下右）です。



今回はここまでとします。次回は台東区厩橋交差点から終点の墨田区横川五丁目横十間川 栗原橋までの墨田区の区道区間を歩きます。

〔バーチャルウォーク途中経過〕

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在は「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」のバーチャルウォークです。「一生に一度はお伊勢参り」のうたい文句に誘われて2005年1月29日～2月1日開催の「第1回熱田・伊勢125キロで初詣ウォーク」に参加して愛知県熱田神宮から伊勢神宮まで歩きましたが、今回は日本橋から東海道五十三次を歩いて四日市日永追分から伊勢街道に入る、二回目の伊勢参りです。2021年9月27日、日本橋を出立、11月11日、三河国（現在の静岡県）吉田宿（日本橋から288km）に到着しました。相変わらず弥次さん 喜多さんとの珍道中です。

緊急事態宣言は2021年10月1日から解除されましたが、新型コロナウイルス感染拡大の収束にはまだ少し時間がかかりそうです。例会が再開されましたが、毎日の運動不足対策にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

毎日の歩いた距離をコースシート上のマスの色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。今回の伊勢参りのコースシートは弥次さん、喜多さんの道中ばなし付きです。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝